

第 35 回東京国際映画祭 共催企画

第 12 回 MPA セミナー

開会式 登壇者プロフィール一覧

---

**ベリンダ・ルイ**

**プレジデント&マネージングディレクター**

**アジア太平洋地域**

ベリンダ・ルイは、モーション・ピクチャー・アソシエーション、アジア太平洋地域プレジデント&マネージングディレクターです。この任務において、デジタル時代におけるアジア太平洋地域の映画業界の商業利益やクリエイティブ利益を促進、保護すべく同アソシエーションのアジア太平洋地域チームを統括しています。

現職就任前には、AT&T によるタイム・ワーナー（現ワーナー・メディア）の買収を経て、ルイ氏は、AT&T コミュニケーションズやワーナー・メディア（およびワーナー・ブラザーズ、HBO、CNN も含めたターナー・ブロードキャスティングといった部門）を含めた AT&T の全事業部門向けにアジア太平洋政府渉外室を管理していました。

また、マイクロソフト香港においては法務およびコーポレート・アフェアーズ部の副部長を務め、マイクロソフトの政府渉外問題に対応したり、知的財産政策について報道機関と定期的に話をしたりする役割を担っていました。

ルイ氏はオーストラリアニューサウスウェールズ州で法廷弁護士および事務弁護士として認められています。国際的な法律事務所ベーカー&マッケンジーシドニー、香港事務所では事務弁護士を務めました。

長年にわたり、ルイ氏は様々な団体の理事を務めています。香港およびマカオのビジネスソフトウェアアライアンスの会長に加えて、US-ASEAN ビジネスカウンシル、APEC のためのナショナルセンター、在香港米国商工会議所、AVIA アジアビデオ産業協会、香港のカナディアン・インターナショナルスクールの役員理事を務めました。現在は、国際女性フォーラム香港支部の代表兼理事を務めています。



## 安藤 裕康

### 東京国際映画祭チェアマン

昭和 19年11月22日生  
45年3月東京大学 卒業  
45年4月外務省 入省  
55年7月外務大臣秘書官  
61年7月南東アジア第二課長  
63年8月在英国日本大使館参事官（広報文化センター所長）

平成 4年3月 在外公館課長  
6年2月 経済局参事官  
8年1月 内閣総理大臣秘書官  
10年8月アジア局審議官  
11年7月在米国日本大使館公使（特命全権）  
14年3月中東アフリカ局長  
15年8月在ニューヨーク総領事（大使）  
18年1月内閣官房副長官補  
20年9月駐イタリア特命全権大使  
23年10月 独立行政法人国際交流基金 理事長

令和 元年7月 東京国際映画祭 チェアマン



## 甘利 明

衆議院議員 元経済再生担当大臣 コンテンツ産業振興議員連盟 会長  
自由民主党 知的財産戦略調査会 顧問

昭和 24 年 8 月 27 日 神奈川県生まれ  
衆議院神奈川県第 13 選挙区選出

### 【役職履歴】

平成 元年 通商産業政務次官《宇野内閣、海部内閣》  
平成 7 年 衆議院商工常任委員長  
平成 10 年 労働大臣《小渕内閣》  
平成 16 年 衆議院予算委員長  
平成 18 年 経済産業大臣《安倍内閣》  
平成 19 年 経済産業大臣《安倍改造内閣、福田内閣》  
平成 20 年 内閣府特命担当大臣（規制改革）、行政改革担当大臣、  
公務員制度改革担当大臣《麻生内閣》  
平成 24 年 自由民主党政務調査会長 経済再生担当大臣、  
社会保障・税一体改革担当大臣、  
内閣府特命担当大臣（経済財政政策）《第 2 次安倍内閣》  
平成 26 年 経済再生担当大臣、社会保障・税一体改革担当大臣、  
内閣府特命担当大臣（経済財政政策）《第 2 次安倍改造内閣、第 3 次 安倍内閣》  
平成 27 年 経済再生担当大臣、社会保障・税一体改革担当大臣、  
内閣府特命担当大臣（経済財政政策）《第 3 次安倍改造内閣》  
平成 29 年 自由民主党行政改革本部長  
平成 30 年 自由民主党選挙対策委員長  
令和 元年 自由民主党税制調査会長  
令和 2 年 自由民主党新国際秩序創造戦略本部座長  
令和 2 年 自由民主党デジタル社会推進本部座長  
令和 3 年 自由民主党幹事長

### 【その他】

2013 年 Bloomberg 「世界で最も影響力のある 50 人」に選出



## アーロン・P・フォースバーグ

### 在日米国大使館経済・科学担当公使

アーロン・P・フォースバーグは、2022年7月1日、在日米国大使館経済・科学担当公使に就任した。それ以前は、2020年8月より貿易・経済政策担当参事官を務め、また2021年秋にはモントリオールで開催された国際民間航空機関（ICAO）理事会で米国代表を務めた。

ワシントン DC では、2017年から2020年にかけて、国務省経済商務局航空交渉部長および次長を務め、アルゼンチン、バハマ、ベリーズ、カザフスタン、カタール、アラブ首長国連邦、英国（ブレグジット後）

等と紛争解決や近代航空輸送協定の交渉を担当した。その他、国務省東アジア・太平洋局日本部経済課長、チーフエコノミスト室エグゼクティブアシスタント、インドネシア／東ティモールデスクオフィサーを歴任。バグダッド、バンコク、ドーハ、東京の各大使館で海外勤務の経験がある。日本語とフランス語を話す。

2001年に国務省外交局に入省する以前は、東京の法律事務所に勤務し、メリーランド大学で歴史を教えながら日米関係を研究し、戦後の日本の経済復興に関する『アメリカと日本の奇跡—国際秩序と戦後日本の経済成長 1950-1960』（世界思想社、2001）を出版。ワシントン州のホイットマン大学で歴史学の学士号を取得し、テキサス大学オースティン校で博士号を取得。既婚者で、成人した娘が一人いる。



## 田中 茂明

### 内閣府知的財産戦略推進事務局長

昭和 39 年 4 月 22 日生まれ

#### 【職歴】

昭和 62 年 4 月 通商産業省入省(産業政策局産業構造課総括係)  
平成 元年 4 月 資源エネルギー庁石炭部鉱害課総括係長  
平成 3 年 6 月 通商産業省大臣官房総務課法令審査委員補佐  
平成 6 年 6 月 防衛庁防衛局防衛政策課部員  
平成 7 年 兼防衛政策課弾道ミサイル防衛政策室部員  
平成 8 年 6 月 通商産業省機械情報産業局自動車課課長補佐  
平成 10 年 6 月 資源エネルギー庁石炭・新エネルギー部計画課課長補佐  
平成 13 年 1 月 資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部政策課課長補佐  
経済産業研究所研究員  
平成 13 年 5 月 経済産業省大臣官房企画課課長補佐  
平成 14 年 7 月 日本貿易振興機構(JETRO)上海センター次長  
平成 18 年 1 月 経済産業省通商政策局北東アジア課長  
平成 20 年 7 月 経済産業省商務情報政策局サービス政策課長  
平成 22 年 3 月 経済産業省製造産業局自動車課長  
平成 24 年 8 月 経済産業省産業技術環境局産業技術政策課長  
平成 24 年 12 月 内閣官房内閣参事官 日本経済再生総合事務局(産業競争力会議担当) 平成 26 年 7  
月 内閣官房内閣審議官 日本経済再生総合事務局次長  
平成 27 年 7 月 経済産業省大臣官房審議官(経済社会政策担当)  
(兼)内閣官房日本経済再生総合事務局次長  
平成 27 年 10 月 内閣官房内閣審議官 一億総活躍推進室次長  
平成 28 年 6 月 経済産業省大臣官房審議官(経済産業政策局担当)  
平成 29 年 7 月 経済産業省大臣官房審議官(製造産業局担当)  
平成 29 年 10 月 経済産業省大臣官房審議官(競争力担当)  
平成 30 年 7 月 経済産業省大臣官房総括審議官  
令和 2 年 8 月 内閣府知的財産戦略推進事務局長

#### 【学歴】

昭和 62 年 3 月 慶應義塾大学経済学部卒業

平成 6 年 ジョンスホプキンス大学高等国際研究大学院(SAIS)修士課程修了



## 伊藤 信太郎

衆議院議員（宮城県第4区・当選7回）

【生年月日】 1953年5月6日

### 【学歴】

- 1976年 慶応義塾大学経済学部経済学科卒業
- 1978年 慶応義塾大学院法学研究科政治学専攻修士課程修了
- 1979年 アメリカン・フィルム・インスティテュート(A.F.I.)監督課程修了
- 1980年 ハーバード大学大学院修士課程修了(Master of Arts 取得)

### 【経歴】

- 1981年 国務大臣防衛庁長官付秘書官
- 1985年 国際ニュース番組「CNNデイウォッチ」メインキャスター
- 1995年 玉川大学大学院講師（非常勤）
- 1999年 東北福祉大学助教授 同大学感性福祉研究所
- 2001年 東北福祉大学教授  
衆議院議員選挙初当選
- 2005年 外務大臣政務官
- 2006年 自由民主党副幹事長
- 2008年 外務副大臣
- 2013年 衆議院環境委員会委員長
- 2014年 衆議院東日本大震災復興特別委員会委員長

### 【現職】

- (衆議院) 憲法審査会 幹事  
外務委員会 委員  
東日本大震災復興特別委員会 委員
- (自由民主党) 国際局長

第 35 回東京国際映画祭 共催企画

第 12 回 MPA セミナー

第一部 登壇者プロフィール一覧

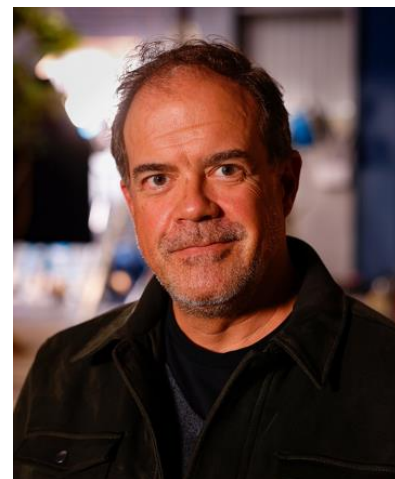
---

**ジョン・カイパー**

**映画プロデューサー**

ジョン・カイパーは 1990 年代にロサンゼルスでロジャー・コーマンのもとでプロデューサーとしてのキャリアをスタートし、その後、あらゆるジャンル、予算規模 30 万ドルから 1 億ドル以上、60 本以上の映画のプロデューサーまたは製作総指揮を世界中で務めてきた。

ワーナー・ブラザーズのシニア・バイスプレジデントとして、『華麗なるギャツビー』、『ホビット』3 部作、『マッドマックス 怒りのデス・ロード』の製作を指揮した。2013 年には、ライオンズゲートで『キング・オブ・エジプト』と『ハンガー・ゲーム』の最新作 2 本の製作を監督した。



2014 年からは、ショーン・ペン監督、ハビエル・バルデム、シャーリーズ・セロン主演で南アフリカで撮影された『ラスト・フェイス』をプロデュース。また、イーサン・ホーク主演の『リミット・オブ・アサシン』、パラマウント・ピクチャーズのコメディ『ジョニー・ノックスヴィル アクション・ポイント ギャングの極みオトナの遊園地』をプロデュースした。

2019 年、ジョンは HBO Max のためにリドリー・スコットのシリーズ「レイズド・バイ・ウルブス 神なき惑星」をプロデュースした。2020 年にはオーストラリアに戻り、MGM のためにロン・ハワードの『13 人の命』を製作し、現在はユニバーサル・ピクチャーズのために、2023 年に Netflix で公開予定のアニメーション・ハイブリッド『ウッディー・ウッドペッカー』を製作中である。

ジョンには大学生の息子が 2 人おり、オーストラリアのボンダイビーチに住んでいる。



**ジーナ・ブラック**  
**ヘッド・オブ・フィジカル・プロダクション**  
**スクリーン・クイーンズランド**

ジーナ・ブラックは英国で生まれ、いつかエンターテインメント業界で働くと思いつきながら育った。LAMDA（ロンドン音楽演劇芸術アカデミー）のコースを含む、演劇と人文科学の教育を修了。南イングランドを後にしたジーナは、演劇のキャリアを追求するためにロンドンに移り、すぐにウエストエンドの大手演劇エージェントに採用され、多くの著名な俳優の代理人となった。3年後、新たなチャンスを探求めてオーストラリアに渡り、以来、この地に留まっている。



俳優との仕事や取引の交渉から得た経験を生かし、クロフォード・プロダクションのキャスティング部門に採用される。その後、再び舞台裏で働くことへの彼女の情熱が沸き起こり、最終的に制作部門に移った。

長期間にわたって映画やテレビの制作に携わった後、プロダクション・マネージャーとしてフリーランスの世界に飛び込む。クイーンズランド州に拠点を移し、外国作品のユニット・プロダクション・マネージャーまたはライン・プロデューサーとして、「Movies of the Week」、長編映画およびTVシリーズ製作に携わり続けた。ウォルト・ディズニー・ピクチャーズ、NBC ユニバーサル、ソニー・ピクチャーズ、20世紀フォックステレビ、ディズニーABC、タッチストーンテレビ、パラマウントピクチャーズ、ワーナーブラザーズテレビ、ユニバーサルテレビなど多くのスタジオとの製作経験がある。

2013年にスクリーン・クイーンズランドに入社し、現在はフィジカル・プロダクションのヘッドを務めている。また、プロダクション・アトラクションの責任者やプロダクション・インセンティブのエグゼクティブ・バイスプレジデントなどの要職を歴任している。

また、AFCI（国際フィルムコミッショナーズ協会）認定のフィルムコミッショナーでもあり、AFCI 理事会の理事も務めている。



## アラン・プール

### Tokyo Vice エグゼクティブ・プロデューサー

アラン・プールは、長編映画とテレビの両方で、監督およびプロデューサーとして優れたキャリアを積んできた。過去 25 年間に、エミー賞、ゴールデン・グローブ賞、全米製作者組合賞 2 回、GLAAD 賞 4 回、ピーボディ賞 3 回を受賞。



エンデバー・コンテンツとの包括的な契約のもと、プールは現在、HBO Max のドラマシリーズ『Tokyo Vice』の製作総指揮と監督を務めている。この同作の原作ジェイク・エーデルスタインが、脚本はトニー賞受賞の劇作家 J・T・ロジャースが手がけている。本作は、アンセル・エルゴートが、日本の組織犯罪を取材するアメリカ人ジャーナリストを演じている。日本語を流暢に話し、東京で映画制作のキャリアをスタートさせたプールにとって、このプロジェクトは待望の東京への帰還となった。

『Tokyo Vice』以前、Netflix の『ジ・エディ』という現代のパリを舞台にしたミュージカルドラマシリーズを制作した。彼は、最初の 2 エピソードを監督したデイミアン・チャゼル監督と共に、5 年かけてこのドラマの計画を進めた。シーズンフィナーレを監督し、チャゼル、ウーダ・ベニャミナ、ライラ・マラクシとともに、フランステレビ批評家協会の最優秀監督賞を共同受賞した。

プールは Netflix で『メリー・アン・シングルトンの物語 (原題: Tales of the City)』(2019 年) の新章を制作した。同作にはオリジナルキャストであるローラ・リニー、オリンピア・デュカキス、ポール・グロスに加え、新しいキャラクターを演じるエリオット・ページとゾーシア・マメットが加わった。プールは 1994 年、画期的だったオリジナル・シリーズを制作し、さらに最終シリーズの 3 エピソードを監督していた。

また、リチャード・ギアとヘレン・マックロリー主演、トム・ロブ・スミス監督作品『マザー・ファーザー・サン』を BBC と Starz で放映するための開発・プロデュースを担当しました。

それ以前は、HBO の 2016 年シリーズ『ウエストワールド』のコンサルティング・プロデューサーを務めた。2012 年から 2014 年にかけては、アaron・ソーキンのゴールデングローブ賞にノミネートされたシリーズ『ニュースルーム』でエグゼクティブ・プロデューサーを務め、シリーズフィナーレを含む 7 エピソードを監督した。また、HBO の『シックス・フィート・アンダー』では、5 シーズンの全期間にわたってエグゼクティブ・プロデューサーを務めた。2008 年には、CBS の挑発的な 1970 年代ドラマ『Swingtown』の製作総指揮を務め、パイロット版を含む 4 エピソードの監督を務めた。2003 年には、『シックス・フィート・アンダー』のエピソード「変化 (原題: Nobody Sleeps)」でエミー賞と監督組合賞の両方にノミネートされた。また、HBO の『Rome [ローマ]』と『ビッグ・ラブ』、Netflix の『グレイス&フランキー』の各のエピソードの監督、TNT の『パーセプション 天才教授の推理ノート』と ABC の『GCB ~キラめく女の逆襲バトル~』のパイロット版を監督した。

2010 年、ジェニファー・ロペスとアレックス・オロックリン主演のロマンティック・コメディ『カレに

は言えない私のケイカク（原題：The Back-up Plan）』で長編監督デビューを果たす。長編プロデュース作品には、フィナ・トレス監督、ペネロペ・クルス主演の『ウーマン・オン・トップ』（2000）、スキップ・ウッズのデビュー作『Thursday』（1998）、ジャン＝マルク・バレ監督の『Los Locos』（1997）、スコット・ウィナントの『あなたに逢えるその日まで…（原題：Til There was You）』（1997）、モニック・ガーデンバーグの『The Interview (Jenipapo)』（1996）、クライヴ・バーカー／バーナード・ローズのホラー作品『キャンディマン』（1992）などがある。

作家のアーミステッド・モーピンとの緊密なコラボレーションにより、モーピンの小説『Tales of the City』を基にした4つのミニシリーズ、それぞれエミー賞にノミネートされた『Tales of the City』、『More Tales of the City』、『Further Tales of the City』の3作品、そして現在のNetflixシリーズ『メリー・アン・シングルトンの物語（原題：Tales of the City）』を制作した。

さらにポールは、ABCの人気シリーズ『アンジェラ 15歳の日々（原題：My So-Called Life）』、ピーボディ賞を受賞した『Rock the Vote Special』（1992）、エミー賞を受賞したPBSのドキュメンタリーシリーズ『The Pacific Century』（1990）を制作しています。ポールは映画人としてのキャリアを日本でスタートさせ、ポール・シュレイダー監督の『ミシマ：ア・ライフ・イン・フォー・チャプターズ』やリドリー・スコット監督の『ブラック・レイン』でアソシエイト・プロデューサーを務めた。現在、フィルム・インディペンデントとプレイライツ・ホライズンズの取締役、映画芸術科学アカデミーの国際アウトリーチ委員会の委員を務めている。それ以前には、米国製作者組合、GLAAD、Outfestの理事を務めた。ニューヨーク・タイムズ・ブックレビュー、バラエティ、フィルム・コメント、エッグ・マガジンに寄稿している。エール大学で日本文学を専攻し、最優等（Summa Cum Laude）で卒業した。

**パトリック・ブゼスキー**  
**ハリウッドレポーター アジアエディター**

アメリカ中西部出身。2007 年からビジネス・文化記者としてアジア太平洋地域を拠点に活動。「Wall Street Journal」、「South China Morning Post」、「Guardian」、「Time」などのフリーランスを経て、2012 年に The Hollywood Reporter (THR) にアジア特派員およびオンラインエディターとして入社。2015 年、パトリックは THR のアジア支局長に就任し、中国とハリウッドの間のクロスボーダー投資のブームに関する同誌の報道を管理する任務を負った。2017 年には、ハリウッドの広大な土地を買収しようとしていた中国の当時の富豪、大連万達グループ会長の王健林の表紙特集で、南カリフォルニア・ジャーナリズム賞の最優秀人物紹介賞を受賞。現在の取材対象は、勢いのある韓国の映画・テレビ業界、復活しつつある日本のアニメビジネス、グローバル・ストリーミング・プラットフォームの成長見通しにおけるアジアの重要性の高まりなど。現在、東京を拠点に活動。



## 第2部 登壇者プロフィール一覧

渡邊 恵理子

国立大学法人 電気通信大学 情報理工学研究科 基盤理工学専攻  
准教授  
理学博士（日本女子大学）



### 【専門】

光情報処理、画像・動画識別、光計測

### 【経歴】

- 2000年 日本女子大学 理学部 数物科学科卒業
- 2002年 日本女子大学 理学研究科 数理・物性構造科学専攻 博士課程前期修了
- 2004-2005年 学術振興会特別研究員
- 2005年 日本女子大学 理学研究科数理・物性構造科学専攻 博士課程後期修了
- 2006年- 独立行政法人科学技術振興機構さきがけ専任研究員
- 2008年- 株式会社 Photonic System Solutions CEO
- 2009年（独）物質・材料研究機構 独立研究者
- 2010年 電気通信大学先端領域教育研究センター特任助教
- 2015年4月 電気通信大学 情報理工学研究科 先進理工学専攻 准教授

所属学会：日本知財学会、応用物理学会、日本光学会、電子情報通信学会、情報処理学会、画像センシング技術研究会 等

委員：日本知財学会理事、文化庁第21期文化審議会著作権分科会国際小委員会 委員 等

## 林いづみ

### 弁護士 桜坂法律事務所

桜坂法律事務所の設立パートナー。早稲田大学法学部卒業後、1983年に司法試験に合格し、検察官を経て東京弁護士会に弁護士登録。国際業務を行う東京の法律事務所、サンフランシスコの米国法律事務所を経て、1993年から2014年まで永代総合法律事務所（東京）のパートナー弁護士を務める。

日本知的財産仲裁センター長（2011～2012年）、日本弁護士連合会知的財産センター委員長（2013～2014年）を務める。IP Lawyers Network Japan (<http://www.iplaw-net.com>) 専務理事、上場企業数社の社外取締役、内閣府規制改革会議委員、内閣府知的財産戦略本部委員など多忙な日々を送っている。



## 遠山友寛

### 弁護士 TMI 総合法律事務所

TMI 総合法律事務所 パートナー弁護士、創設メンバーの一人。

メジャー映画会社の著作権保護に関する法律業務に携わる一方、映画製作投資、広告、スポーツ、音楽等の数多くのエンターテインメントビジネスに関与。不正商品対策協議会（ACA）の監事を務める。

スポーツの分野では、1998年の長野オリンピックの筆頭弁護士を務め、またラグビーワールドカップ2019組織委員会の理事も務めた。また、2020東京オリンピック・パラリンピックにも関係した。なお、2013年から2022年9月25日まで国際バレーボール連盟（FIVB）のLegal Commissionの委員を務め、現在は同連盟のEthical Panelの委員を務めている。慶応大学法学部法律学科卒。



## 大日方信春

### 熊本大学大学院人文科学研究部教授

#### 【学歴等】

平成 2年4月 琉球大学法文学部法政学科入学  
平成 6年3月 琉球大学法文学部法政学科卒業  
平成 6年4月 琉球大学大学院法学研究科法学専攻入学  
平成 8年3月 琉球大学大学院法学研究科法学専攻修了（修士（法学））  
平成 8年4月 広島大学大学院社会科学研究科博士課程後期（法律学専攻）入学  
平成11年3月 広島大学大学院社会科学研究科  
博士課程後期（法律学専攻）修了（博士（法学））



#### 【職歴】

平成12年4月 広島大学法学部助手（～13年3月）  
平成13年4月 広島県立大学経営学部講師（～16年3月）  
平成16年4月 姫路獨協大学法学部助教授（～19年9月）  
平成19年10月 熊本大学法学部准教授（～22年4月）  
平成22年5月 熊本大学法学部教授（現在に至る）  
平成29年4月 熊本大学大学院人文科学研究部教授（現在に至る）

#### 【研究業績等に関する事項】

##### <論文>

- ・「サイト・ブロッキング法制化におけるプライバシー権と通信の秘密」法律時報（Vol.94, No.10）, 68-73 頁, 2022 年
- ・「サイアあるいはウエボン型のパロディと表現の自由」高倉成男・木下昌彦・金子敏哉編『知的財産法制と憲法的価値』（有斐閣）, 221-242 頁, 2022 年
- ・「著作者の権利に基づく差止めと表現の自由」田村善之・山根崇邦編著『知財のフロンティア [第1巻]』（勁草書房）, 165-188 頁, 2021 年
- ・「（講演録）海賊版サイト・ブロッキングの憲法適合性」コピーライト（721）, 2-22 頁, 2021 年
- ・「海賊版サイト・ブロッキングの憲法適合性」法律時報（Vol.93, No.2）, 82-87 頁, 2021 年
- ・「通信の秘密とサイトブロッキング（序説）」日本知財学会誌（Vol.16, No.3）, 23-31 頁, 2020 年
- ・「憲法との関係における知的財産制度について」パテント（Vol.73, No.1）, 84-96 頁, 2020 年
- ・「知的財産権論のためのステイト・アクション論再考：知的財産権と憲法訴訟の関わり」熊本法学（145）, 1-42 頁, 2019 年
- ・「表現、情報と統治：嫌悪感、萎縮と侵害の間（立憲主義と法治主義の現代的課題）」公法研究（80）, 173-182, 頁 2018 年
- ・「商標と表現の自由(1)（木村俊夫教授退職記念号）」熊本法学（136）, 71-122 頁, 2016 年
- ・「パブリシティ権と表現の自由（岩岡中正教授退職記念号）」熊本法学（127）, 55-136 頁, 2013 年
- ・「特許権をみる憲法学の視点について」日本工業所有権法学会年報（37）, 1-28 頁, 2013 年



- ・「特許と憲法：表現の自由を中心に」熊本法学 -(125), 110-54 頁, 2012 年
- ・「著作権と憲法理論」知的財産法政策学研究 (33), 229-257 頁, 2011 年
- ・「著作権と表現の自由の調整原理(2・完)」熊本法学 (118), 89-161 頁, 2009 年
- ・「著作権と表現の自由の調整原理(1)」熊本法学 (116), 1-49 頁, 2009 年
- ・「著作権をみる憲法学の視点について」熊本法学 (114), 1-36 頁, 2008 年
- ・「著作権の憲法上の地位--合衆国憲法一条八節八項の文理解釈を導きの糸として」姫路法学 (45), 1-49, 2006 年

< 著書 (代表的なもの) >

- ・『憲法 I: 総論・統治機構論』有信堂高文社 2015 年
- ・『憲法 II-基本権論[第二版]』有信堂高文社 2018 年
- ・『著作権と憲法理論 (学術選書 67)』信山社 2011 年
- ・『ロールズの憲法哲学』有信堂高文社 2001 年

#### 【学会及び社会における活動等】

平成 9 年 10 月 日本公法学会 (現在に至る)

平成 10 年 6 月 日米法学会 (現在に至る)

平成 29 年 10 月 比較憲法学会理事 (令和 2 年 10 月より常任理事、現在に至る)

令和元年 6 月 司法試験考査委員 (現在に至る)

## 高橋郁夫

弁護士 駒澤総合法律事務所

#### 【経歴】

早稲田大学政治経済学部卒業(昭和 60 年 3 月)

最高裁判所 司法研修所 終了(第 39 期司法修習生)(昭和 62 年 3 月)

弁護士(昭和 62 年 4 月)(第一東京弁護士会)

橋本武人法律事務所に勤務

新明総合法律事務所 英国バード・アンド・バード法律事務所 勤務を経て

平成 5 年 10 月 高橋郁夫法律事務所を創設 福島県弁護士会に登録換

平成 17 年 1 月 IT 法律事務所と改称

平成 19 年 10 月 調査会社として 株式会社 IT リサーチ・アートを設立

福島大学講師(平成 7 年 4 月)

宇都宮大学 工学部 講師(平成 15 年 4 月から現在)

奈良先端科学技術大学院大学 講師(IT keys)(平成 20 年 4 月から平成 23 年)

平成 23 年 8 月 第一東京弁護士会に登録換、BLT 法律事務所と改称

平成 24 年 3 月 情報セキュリティ文化賞を受賞

平成 26 年 6 月 駒沢 1 丁目 アトリエ駒沢 2 階に移転、駒澤総合法律事務所と改称



#### 【取締役等】



株式会社 I T リサーチ・アート 代表取締役

**【政府委員等】**

情報処理推進機構「脆弱性研究委員会」

同上 「サービス妨害攻撃の対策等調査」委員会

同上 「重要インフラ制御システムの脆弱性低減と普及施策に関する調査委員会」

経済産業省「サイバーセキュリティと経済 研究会」委員

総務省 「次世代の情報セキュリティ政策に関する委員会」委員

**【社会活動等】**

日弁連 コンピュータ委員会 委員 副委員長（-2011）

第一東京弁護士会 綜合法律研究部会 I T 法部会 部会長（-2016）

日本クラウドセキュリティアライアンス監事

社外取締役の経歴

株式会社 F F R I 取締役（2014-2018）